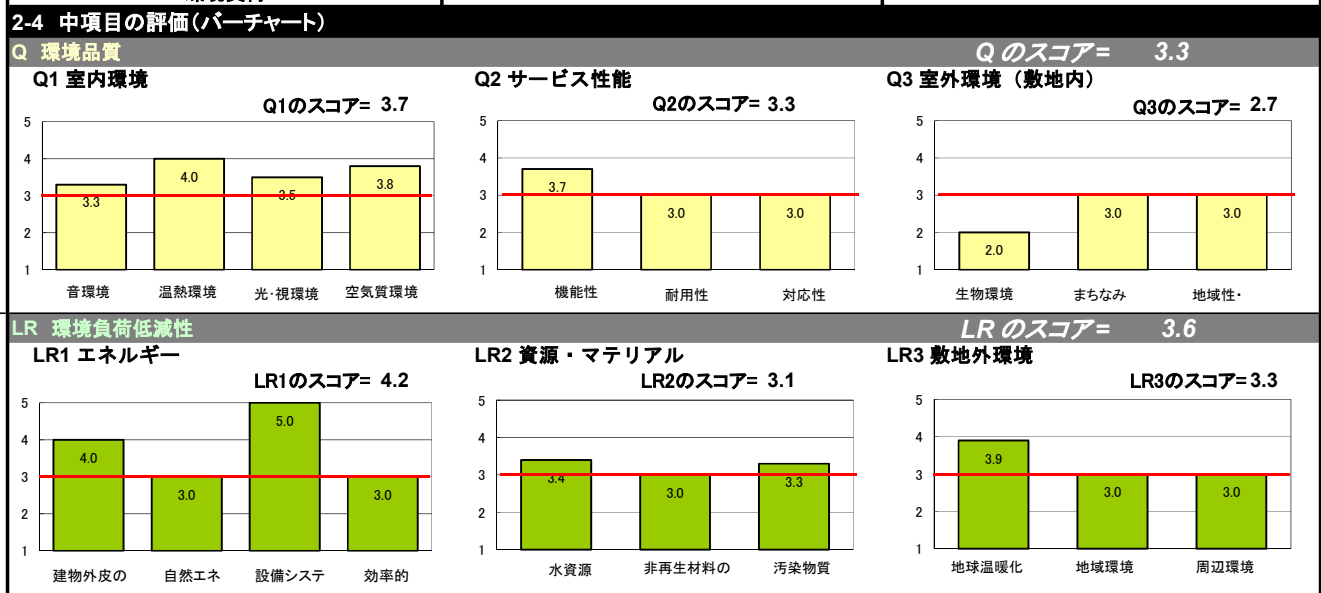
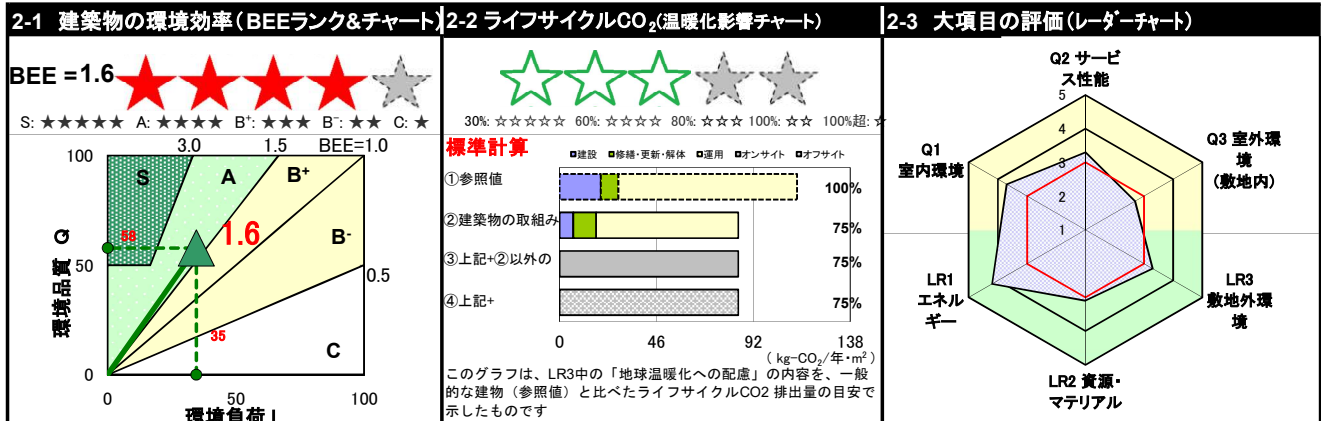


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)原2丁目共同住宅新築工事(南敷地)	階数		
建設地	福岡県福岡市早良区原二丁目413番地	構造		
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条区域	平均居住人員		
地域区分	7地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日		
敷地面積	2,852 m ²	作成者		
建築面積	674 m ²	確認日		
延床面積	6,251 m ²	確認者		
			(株)IAO竹田設計 九州事務所	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物利用者の快適な生活環境を維持するため遮音性を高め、安全性を考慮してF☆☆☆☆の建材やノンフロン断熱材を採用している		特になし
耐用年数の高い建材の使用やリサイクル材を採用し資源の有効利用に心がけている		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
住宅性能表示基準等級4を取得し高い外皮性能を有するF☆☆☆☆の建築材料を全面的に使用し室内環境に配慮	情報社会に対応し大容量ブロードバンド設置住宅性能表示基準の劣化軽減等級3取得により耐用年数の長い建物とする	敷地内にできる限りの緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明等、設備システムの効率化に配慮している	ノンフロンの断熱材を採用し室内の良好な環境に努めている節水機器やリサイクル材を採用し資源の有効利用に心がけている	路上駐車させないように適切な台数の駐車場の設置駐車場の出入を円滑にし、渋滞がおこらないように配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される